



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月11日

上場会社名 株式会社ルネサンス

上場取引所 東

コード番号 2378 URL <https://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 高崎 尚樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員最高財務責任者 (氏名) 安澤 嘉丞

TEL 03-5600-5312

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日

配当支払開始予定日

2020年6月9日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・マスコミ向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	45,049	2.2	3,267	13.6	3,042	16.2	1,378	43.4
2019年3月期	46,070	0.3	3,782	6.9	3,633	4.4	2,436	2.6

(注) 包括利益 2020年3月期 1,391百万円 (41.7%) 2019年3月期 2,384百万円 (0.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	84.67		8.8	8.0	7.3
2019年3月期	144.96		16.2	10.0	8.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	39,765	16,092	40.5	988.21
2019年3月期	36,684	15,263	41.6	937.54

(参考) 自己資本 2020年3月期 16,092百万円 2019年3月期 15,263百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	5,160	2,729	999	6,197
2019年3月期	5,115	2,519	3,061	2,759

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		17.00		18.00	35.00	580	24.1	3.9
2020年3月期		17.00		9.00	26.00	423	30.7	2.7
2021年3月期(予想)								

(注) 2021年3月期の配当予想に関しましては、新型コロナウイルスの影響を合理的に算定することが困難なことから、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響を合理的に算定することが困難なことから未定とし、業績予想の開示が可能になった段階で改めて開示させていただきます。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	21,379,000 株	2019年3月期	21,379,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	5,094,206 株	2019年3月期	5,098,420 株
期中平均株式数	2020年3月期	16,283,459 株	2019年3月期	16,811,868 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	44,834	2.2	3,318	13.8	2,705	25.5	1,509	38.7
2019年3月期	45,865	0.3	3,850	6.6	3,629	4.6	2,460	2.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	92.68	
2019年3月期	146.37	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	39,808		16,328		41.0		1,002.67	
2019年3月期	36,568		15,383		42.1		944.91	

(参考) 自己資本 2020年3月期 16,328百万円 2019年3月期 15,383百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)1ページ「1.経営成績等の概況」をご覧ください。

(2) 当社は、2020年5月12日に機関投資家・アナリスト・マスコミ向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	1
(1) 当期の経営成績の概況	1
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(追加情報)	14
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな景気回復基調で推移していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、足下で大幅に下押しされており、国内外経済に対する影響が続くことが想定され、現時点において先行きは不透明な状況となっております。

フィットネス業界においては、新型コロナウイルスの感染拡大により、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が延期されたことで、スポーツ全般への取り組みに関する機運が一時的に停滞いたしました。また、「スポーツクラブ」や「スポーツジム」が、新型コロナウイルス感染拡大の場所として各種メディアに取り上げられたこと等により、営業自粛や営業規模縮小等の対応を余儀なくされました。新型コロナウイルス感染拡大の収束時期は不透明であり、フィットネス業界は不安定な状況が続いております。

当社におきましても、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、3月には、スポーツクラブにおいて、「密閉・密集・密接」を回避するという観点から、スタジオプログラムやジュニアスクールの休止、及び、一部スタジオ業態施設を休館いたしました。

これらの影響により3月の入会者数は前年同期比で半数以下に減少し、退会者数も増加し、当期末の在籍会員数は前年同期比1.6%減の404,906名となりました。休会者数についても大幅に増加しました。

この結果、当連結会計年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大によるスクールの休止や休会者数の増加、及び、前連結会計年度第3四半期よりエステ、及び、マッサージの業務委託先との契約形態変更に伴い売上高の総額表示から純額表示へ変更したことによる影響もあり、売上高が450億49百万円（前年同期比2.2%減）となりました。前述のスクール休止、休会者数増加による会費売上減少等の影響により、営業利益は32億67百万円（同13.6%減）、経常利益は30億42百万円（同16.2%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、営業施設に対する固定資産の減損損失や新型コロナウイルスの感染拡大による休業補償等を特別損失に計上したことにより、13億78百万円（同43.4%減）となりました。

<スポーツクラブ事業>

スポーツクラブ事業においては、当連結会計年度第3四半期累計期間までは、在籍会員数の増加により、売上高が前年を上回る進捗で推移してまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当連結会計年度第4四半期において、在籍者数が減少し、また、休会者数が増加したため、売上高は大きく減少いたしました。新型コロナウイルスの影響は、収束するまでの間、引き続き、業績に大きな影響を及ぼす見込みです。

なお、施設の状況については、6月にルネサンス久里浜（神奈川県横須賀市）、3月に短時間で高効率なワークアウトが可能なグループ・ワークアウトスタジオ「BETTER BODIES HI AOYAMA（ベターボディーズ ハイ）」（東京都港区）をオープンいたしました。

また、既存施設の設備投資については28施設においてリニューアル工事を実施し、施設環境の整備や魅力向上を図りました。

<介護リハビリ事業>

介護リハビリ事業においては、元氣ジム等の出店を積極的に行いました。当連結会計年度における開設は下表の通りです。

直営/FC	開業月	施設名	場所
直営	4月	元氣ジム練馬	東京都練馬区
直営	6月	ルネサンス運動支援センター	大阪府大阪市
直営	7月	リハビリステーション大船事業所	神奈川県鎌倉市
直営	9月	元氣ジム伊勢佐木長者町	神奈川県横浜市
直営	9月	元氣ジム三ツ境	神奈川県横浜市
FC	10月	元氣ジム岡山豊成	岡山県岡山市
直営	1月	元氣ジムジュニア三ツ境	神奈川県横浜市
直営	2月	元氣ジム大和	神奈川県大和市
直営	3月	元氣ジム綾瀬	東京都足立区

ルネサンス運動支援センターは、大阪国際がんセンター患者交流棟内で、がん患者の生活の質の維持・向上を運動の側面から支援する新たな業態となります。

また、海外では、韓国最大の整形外科専門病院の第一整形外科病院（ソウル特別市江南区）に対して、当社が保有する認知機能低下予防メソッド「シナプソロジー」やリハビリテーションのコンテンツに関するコンサルティングを行い、2月に韓国のメディカルコンテンツを融合した高齢者向け施設「チェイル リ フィットケア」の開業を支援いたしました。

なお、介護リハビリ事業は、通常通り営業しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、3月の利用者の出席率が大幅に減少し、売上高が減少しています。

<健康ソリューション事業>

健康ソリューション事業においては、自治体や民間企業の健康関連施設の開業支援や運営支援等に取り組んでおります。

9月に鳥取県西伯郡伯耆町で2拠点目となる役場分庁舎空きフロアを活用した健康増進、地域のコミュニティづくり、及び、就労機能を有する施設「みぞくちテラス」、12月に桜宮ゴルフクラブ株式会社が運営する低酸素トレーニングジム「AOR (Air Oriented Room)」(大阪府大阪市)の開業を支援いたしました。

また、2月には、熊本県合志市で地域住民の健康増進を図るコミュニティの場となる「フィットネス&コミュニティ コレカラダ」、及び、健康データの取得・研究活動の拠点となる「コレカラボ」の「ルーロ合志」内への開設を支援いたしました。

以上の結果、当社の施設の状況は、当連結会計年度末の国内施設数において、スポーツクラブ 129 施設（直営 98 施設、業務受託 31 施設）、スタジオ業態施設 12 施設、リハビリ施設 31 施設（直営 25 施設、フランチャイズ 6 施設）の計 172 施設となりました。

当連結会計年度においては、以下の認証及び表彰を受けております。

月	名称	認定先
4月	IT 経営注目企業 2019【2年連続】	経済産業省 東京証券取引所
11月	日経「スマートワーク経営」調査 星3.5を獲得	日本経済新聞社
11月	東京都スポーツ推進企業【5年連続】	東京都
12月	スポーツエールカンパニー認定【3年連続】	スポーツ庁
2月	「働きがいのある会社」ベストカンパニー選出【8年連続】	Great Place to Work® Institute Japan
3月	健康経営優良法人 2020～ホワイト500～【3年連続】	経済産業省 日本健康会議
3月	なでしこ銘柄【初選定】	経済産業省 東京証券取引所

なお、当社グループの報告セグメントは「スポーツクラブ運営事業」のみであるため、セグメントごとの業績については記載しておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ30億80百万円増加し、397億65百万円となりました。これは主に、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による資金需要を勘案したことに伴い現金及び預金が増加したことなどにより流動資産合計が34億円増加した一方、固定資産合計が3億20百万円減少したことによるものです。

② 負債

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ22億51百万円増加し、236億72百万円となりました。これは主に、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による資金需要を勘案したことに伴い短期借入金が増加したことにより流動負債合計が28億99百万円増加した一方、リース債務が減少したことにより固定負債が6億47百万円減少したことによるものです。

③ 純資産

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億29百万円増加し、160億92百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益13億78百万円を計上したこと、配当金5億69百万円を支払ったことにより利益剰余金が8億8百万円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ34億38百万円増加し、61億97百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度 51億60百万円（前連結会計年度 51億15百万円）

営業活動により得られた資金は、51億60百万円（前連結会計年度比0.9%増）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益23億98百万円（同35.0%減）、減価償却費26億9百万円（同1.6%増）、法人税等の支払額12億18百万円（同11.9%減）によるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度△27億29百万円（前連結会計年度△25億19百万円）

投資活動に使用した資金は、27億29百万円（前連結会計年度比8.3%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出25億26百万円（同19.7%増）によるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度9億99百万円（前連結会計年度△30億61百万円）

財務活動により得られた資金は、9億99百万円となりました。これは主に短期借入金の純増加額32億40百万円、長期借入れによる収入12億円（同25.0%減）、長期借入金の返済による支出24億30百万円（同4.7%増）、配当金の支払額5億70百万円（同3.6%減）、によるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 (当連結会計年度)
自己資本比率 (%)	41.6	41.6	40.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	91.9	86.8	41.2
債務償還年数 (年)	2.4	2.7	2.9
事業収益/ネット・カバレッジ・レシオ (倍)	15.6	15.6	13.4

自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額(期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後))
/総資産

債務償還年数 : 有利子負債/営業キャッシュ・フロー

事業収益/ネット・カバレッジ・レシオ : (営業利益+受取利息+受取配当金) /支払利息

(注) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている短期及び長期借入金並びにリース債務を対象としております。営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。また、支払利息については、連結損益計算書の支払利息を使用しております。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルスの感染拡大による政府が発出した緊急事態宣言を受けた地方自治体からの休業要請により、当社施設は、元氣ジム等のリハビリ施設を除くすべての施設を休業いたしました。その結果、スポーツクラブ等において、入会者数の減少、退会者数及び休会者数の増加等により、売上高の大幅な減少が見込まれます。

したがいまして、スポーツクラブ等の在籍者、及び、休会者が安心してスポーツクラブ等のご利用を再開していただけるよう、施設の態勢を整え、コスト構造を見直し、新たな経営体制のもと、業績の回復、及び、更なる成長に向けて取り組んでまいります。

なお、当該影響によるスポーツクラブ等の休業に伴う売上高の大幅な減少に備え、取引金融機関のコロナ特別ファンドを利用し、2020年4月30日に40億円の資金調達を行っております。

また、今後の事業展開を推進していくために必要な資金需要に対して、安定的かつ機動的な資金調達体制の構築、財務基盤の一層の強化を図ることを目的として取引金融機関と総額40億円のコミットメントライン契約を2020年4月27日付で締結いたしました。

スポーツクラブの新規出店としては、ルネサンス仙台宮町（宮城県仙台市）、ルネサンス山科柳辻（京都府京都市）、ルネサンス五月台（神奈川県川崎市）のオープンを予定しております。

また、150～200坪程度の規模で、初期投資額を抑え、スピーディーに多店舗展開が可能となる新たなスポーツクラブ業態を開発し、2020年4月に、1号店となるジム&スタジオルネサンス綾瀬（東京都足立区）をオープンいたしました。本業態は、施設規模に応じて、元氣ジム（50坪程度）等の様々な店舗との併設が可能であり、ジム&スタジオルネサンス綾瀬では、元氣ジム綾瀬を併設しております。本業態については、2020年度内に、複数店舗の出店を予定しております。

新規出店のほか、既存施設においては、在籍者数の回復に向け、施設環境の整備と付加価値向上に向けた改装や設備更新を実施してまいります。

介護リハビリ事業については、引き続き、着実に出店していく予定です。

健康ソリューション事業については、自治体、企業、健康保険組合等に対する健康事業や健康経営に関するコンサルティングサービスの提供、スポーツ施設の開業や運営の支援等に積極的に取り組んでまいります。また、シナプソロジーの国内外における更なる展開等も進めてまいります。

2021年3月期の通期業績予測につきましては、政府が発出した緊急事態宣言及び都道府県からの営業休止要請を踏まえ、元氣ジムを除くすべての施設の臨時休業など、新型コロナウイルス感染拡大による影響に関して不透明な状況が続いており、現時点では合理的な業績予想の算定が困難であるため未定とさせていただきます。業績予想の算定が可能となった時点で改めて公表させていただきます。

- 臨時休業対象施設 合計 145 施設
 - ▶ 2020年4月8日（水）～5月31日（日） 75 施設
 - ▶ 2020年4月17日（金）～5月31日（日） 4 施設

▶ 2020年4月18日(土)～5月31日(日) 33 施設

▶ その他、業務受託施設 33 施設

※状況により変更となる場合がございます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の状況を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,739,671	6,180,812
売掛金	1,293,539	1,062,577
リース投資資産	21,726	22,255
商品	228,561	258,280
貯蔵品	79,865	80,489
その他	1,262,307	1,421,838
貸倒引当金	△6,304	△5,939
流動資産合計	5,619,367	9,020,313
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,534,752	21,323,283
減価償却累計額	△12,007,245	△12,880,969
建物及び構築物(純額)	8,527,507	8,442,313
機械装置及び運搬具	2,533,738	2,587,923
減価償却累計額	△1,741,114	△1,913,993
機械装置及び運搬具(純額)	792,624	673,929
工具、器具及び備品	4,501,876	4,858,647
減価償却累計額	△3,320,484	△3,660,985
工具、器具及び備品(純額)	1,181,391	1,197,662
土地	1,124,938	1,124,938
リース資産	9,960,892	9,960,892
減価償却累計額	△2,523,992	△2,972,626
リース資産(純額)	7,436,900	6,988,265
建設仮勘定	33,482	498,929
有形固定資産合計	19,096,844	18,926,039
無形固定資産		
のれん	135,089	120,469
その他	905,394	904,633
無形固定資産合計	1,040,484	1,025,103
投資その他の資産		
投資有価証券	100,199	40,056
長期貸付金	699,553	581,250
敷金及び保証金	8,478,175	8,389,351
繰延税金資産	851,246	837,666
その他	798,897	945,763
投資その他の資産合計	10,928,072	10,794,088
固定資産合計	31,065,400	30,745,230
資産合計	36,684,768	39,765,544

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	75,554	64,890
短期借入金	600,000	3,840,000
1年内返済予定の長期借入金	2,390,000	1,310,000
リース債務	447,045	459,443
未払金	1,289,874	1,284,423
未払法人税等	745,464	534,264
賞与引当金	1,001,138	855,400
役員賞与引当金	50,165	43,884
資産除去債務	2,563	65,171
その他	1,978,159	3,021,892
流動負債合計	8,579,963	11,479,371
固定負債		
長期借入金	2,400,000	2,250,000
リース債務	7,805,670	7,345,880
退職給付に係る負債	721,986	766,474
資産除去債務	966,933	971,744
その他	946,443	859,287
固定負債合計	12,841,034	12,193,387
負債合計	21,420,998	23,672,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	4,707,844	4,711,080
利益剰余金	13,541,527	14,350,359
自己株式	△5,147,599	△5,143,390
株主資本合計	15,312,151	16,128,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,605	2,496
為替換算調整勘定	7,840	15,217
退職給付に係る調整累計額	△60,828	△53,358
その他の包括利益累計額合計	△48,381	△35,644
純資産合計	15,263,769	16,092,785
負債純資産合計	36,684,768	39,765,544

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	46,070,485	45,049,105
売上原価	39,636,239	39,106,498
売上総利益	6,434,246	5,942,606
販売費及び一般管理費	2,651,355	2,675,507
営業利益	3,782,890	3,267,099
営業外収益		
受取利息	16,541	14,501
受取配当金	196	200
為替差益	18,202	—
受取手数料	20,055	23,032
補助金収入	20,000	—
店舗閉鎖損失引当金戻入額	18,594	—
その他	40,534	31,495
営業外収益合計	134,123	69,230
営業外費用		
支払利息	244,022	244,145
その他	39,922	49,289
営業外費用合計	283,944	293,434
経常利益	3,633,069	3,042,894
特別利益		
固定資産売却益	—	268
投資有価証券売却益	12,435	—
受取補償金	264,177	—
特別利益合計	276,613	268
特別損失		
固定資産除却損	12,368	32,412
減損損失	154,927	433,953
投資有価証券評価損	—	57,596
店舗閉鎖損失	—	23,000
店舗休止損失	—	95,357
災害による損失	44,129	—
その他	5,050	1,918
特別損失合計	216,476	644,237
税金等調整前当期純利益	3,693,206	2,398,925
法人税、住民税及び事業税	1,259,773	1,008,986
法人税等調整額	△3,533	11,215
法人税等合計	1,256,240	1,020,201
当期純利益	2,436,965	1,378,724
親会社株主に帰属する当期純利益	2,436,965	1,378,724

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	2,436,965	1,378,724
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,148	△2,108
為替換算調整勘定	△3,399	7,376
退職給付に係る調整額	△47,553	7,469
その他の包括利益合計	△52,101	12,737
包括利益	2,384,864	1,391,461
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,384,864	1,391,461
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,210,380	4,707,844	11,696,782	△3,793,999	14,821,006
当期変動額					
剰余金の配当			△592,220		△592,220
親会社株主に帰属する当期純利益			2,436,965		2,436,965
自己株式の取得				△1,353,600	△1,353,600
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,844,745	△1,353,600	491,145
当期末残高	2,210,380	4,707,844	13,541,527	△5,147,599	15,312,151

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	5,753	11,240	△13,274	3,719	14,824,725
当期変動額					
剰余金の配当					△592,220
親会社株主に帰属する当期純利益					2,436,965
自己株式の取得					△1,353,600
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,148	△3,399	△47,553	△52,101	△52,101
当期変動額合計	△1,148	△3,399	△47,553	△52,101	439,044
当期末残高	4,605	7,840	△60,828	△48,381	15,263,769

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,210,380	4,707,844	13,541,527	△5,147,599	15,312,151
当期変動額					
剰余金の配当			△569,891		△569,891
親会社株主に帰属する当期純利益			1,378,724		1,378,724
自己株式の取得				△89	△89
自己株式の処分		3,236		4,298	7,534
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	3,236	808,832	4,209	816,278
当期末残高	2,210,380	4,711,080	14,350,359	△5,143,390	16,128,429

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,605	7,840	△60,828	△48,381	15,263,769
当期変動額					
剰余金の配当					△569,891
親会社株主に帰属する当期純利益					1,378,724
自己株式の取得					△89
自己株式の処分					7,534
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,108	7,376	7,469	12,737	12,737
当期変動額合計	△2,108	7,376	7,469	12,737	829,015
当期末残高	2,496	15,217	△53,358	△35,644	16,092,785

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,693,206	2,398,925
減価償却費	2,567,224	2,609,020
減損損失	154,927	433,953
店舗閉鎖損失	—	23,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	44,898	55,251
長期未払金の増減額 (△は減少)	236,902	△58,758
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,033	△145,738
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△18,594	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	△268
固定資産除却損	12,368	32,412
受取利息及び受取配当金	△16,738	△14,702
受取補償金	△264,177	—
支払利息	244,022	244,145
売上債権の増減額 (△は増加)	△75,092	230,962
たな卸資産の増減額 (△は増加)	55,903	△30,342
前払費用の増減額 (△は増加)	14,656	△45,998
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,963	△10,664
未払金の増減額 (△は減少)	△36,072	△5,091
未払費用の増減額 (△は減少)	△31,574	△250,793
前受金の増減額 (△は減少)	40,522	668,462
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△110,450	609,024
その他	△50,447	△119,109
小計	6,479,481	6,623,692
利息及び配当金の受取額	588	563
利息の支払額	△245,375	△245,285
補償金の受取額	264,177	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,382,994	△1,218,509
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,115,877	5,160,460
投資活動によるキャッシュ・フロー		
関係会社の清算による収入	5,783	—
投資有価証券の取得による支出	—	△491
投資有価証券の売却による収入	12,436	—
有形固定資産の取得による支出	△2,110,269	△2,526,326
有形固定資産の売却による収入	—	740
無形固定資産の取得による支出	△359,260	△231,466
敷金及び保証金の差入による支出	△301,817	△218,430
敷金及び保証金の回収による収入	165,773	96,475
長期貸付金の回収による収入	134,722	133,662
その他	△66,519	16,746
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,519,150	△2,729,090
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	3,240,000
長期借入れによる収入	1,600,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△2,320,000	△2,430,000
リース債務の返済による支出	△397,128	△447,391
自己株式の処分による収入	—	7,534
自己株式の取得による支出	△1,353,600	△89
配当金の支払額	△591,245	△570,251
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,061,974	999,802
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,399	7,376
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△468,646	3,438,550
現金及び現金同等物の期首残高	3,227,927	2,759,281
現金及び現金同等物の期末残高	2,759,281	6,197,831

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大による政府が発出した緊急事態宣言を受けた地方自治体からの休業要請により、当社施設は、元氣ジム等のリハビリ施設を除くすべての施設を休業いたしました。その結果、スポーツクラブ等において、入会者数の減少、退会者数及び休会者数の増加等により、売上高の大幅な減少が見込まれます。

当該影響により、当社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を及ぼす可能性があります。

なお、資金調達に関する事項につきましては、(重要な後発事象)をご参照ください。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

「スポーツクラブ運営事業」の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額が90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

「スポーツクラブ運営事業」の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額が90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	937円54銭	988円21銭
1株当たり当期純利益金額	144円96銭	84円67銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	2,436,965	1,378,724
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益(千円)	2,436,965	1,378,724
普通株式の期中平均株式数(株)	16,811,868	16,283,459

(重要な後発事象)

(資金の借入)

新型コロナウイルスの感染拡大による政府が発出した緊急事態宣言を受けた地方自治体からの休業要請により、当社施設は、元氣ジム等のリハビリ施設を除くすべての施設を休業いたしました。

当該影響によるスポーツクラブ等の休業に伴う売上高の大幅な減少に備え、取引金融機関のコロナ特別ファンドを利用し、以下の通り資金調達を行っております。

- | | |
|-----------|------------------------------|
| (1) 資金の使途 | 新型コロナウイルスの影響による不測の事態に備えた予備資金 |
| (2) 借入先 | 取引金融機関 2行 |
| (3) 借入金額 | 40億円 |
| (4) 利率 | スプレッド |
| (5) 借入実行日 | 2020年4月30日 |
| (6) 返済期限 | 2021年4月30日 |
| (7) 担保・保証 | 無担保・無保証 |

(コミットメントライン契約の締結)

今後の事業展開を推進していくために必要な資金需要に対して、安定的かつ機動的な資金調達体制の構築、財務基盤の一層の強化を図ることを目的として、以下の通りコミットメントライン契約を締結いたしました。

コミットメントライン契約の概要

契約締結先	借入極度額	契約締結日	契約期間	担保
株式会社三菱UFJ銀行	20億円	2020年4月27日	1年	無担保無保証
株式会社三井住友銀行	20億円	2020年4月27日	1年	無担保無保証